

能登ヘルプ 2024 年能登半島地震支援助成金制度 能登ヘルプ「こひつじ基金」

第1期 支援プロジェクト募集ガイドライン

マルコの福音書 6 章 34 節

イエスは、舟から上がられると、多くの群衆をご覧になった。そして彼らが羊飼いのいない羊のようであることを深くあわれみ、いろいろと教え始められた。

ご案内

2024 年 1 月 1 日に発生した能登半島地震に際して、複数の教会、キリスト教団体による個別の支援活動が始まりました。また石川県放送伝道協力会が中心となって地域の教会をはじめとするキリスト教諸団体によびかけをし、援助をいただきながら「能登地震キリスト災害支援会（能登ヘルプ）」を立ち上げ約 4 ヶ月間活動を続けてきました。

災害発生から 3 ヶ月あまりが経過した現在、道路や水道などの回復や仮設住宅の建設が進められています。その一方で、避難所や壊れた自宅等での生活が続いている人々がいます。人々の居場所（住まい）や生活上の困りごとが多様化していく中で、これまで行ってきた片付けなどの支援に加えて、新しい支援が必要になってきています。能登ヘルプでは、被災された方々の暮らしの回復には、ニーズの変化に寄り添った息の長い支援が必要と考えています。

また、私たちキリスト者ならではの新しいやり方で、キリスト者・教会・団体と共に、能登ヘルプが使命とする「キリストに仕える者として、キリストの心をもって、被災地と被災者に仕える」を実現するために、このたび能登ヘルプ「こひつじ基金」をスタートすることにいたしました。

この基金が大いに用いられ、日本全国の多くの方々を知恵と力が寄せられ、私たちキリスト者が被災地と被災者に仕えていくことを願っております。

この基金では、下記の要項で被災地と被災者に仕える活動を支援します。

1. 補助の対象となる団体

①営利を目的としない日本全国の能登半島地震における、被災地支援、被災者支援・避難者支援を行う<キリスト教会>とキリスト教の<NPO、支援団体、市民活動団体、教会内のグループ、大学のボランティアサークル>など。

※注 1) 法人格のない任意団体(教会の青年会や婦人会など)、この災害を機に立ち上げられた小グループ・組織・団体も申請が可能です。

※注 2) 個人での申請は受付していません。

②被災地や被災地域の教会のニーズを調査した上で
<企画・計画⇒申請⇒実施⇒報告⇒最終監査と報告書提出>まで、誠実に行うことを約束していただける団体。

2. 補助対象となるプロジェクト

被災地の支援、被災者・避難者を支援する以下に関わる活動に助成をします。

(あてはまる活動はいくつあってもかまいません)

支援区分	支援テーマ	アイデアの事例	備考
被災者の生活に関する活動	①被災者の生活に直接関わる支援	物資提供、炊き出し、家の片付け、買い物支援、情報提供など	被災地域教会や所属クリスチャン団体のリーダーとよく話し合いをした上で、被災地域のニーズを反映していることが求められます。
	②被災者の心身の健康に関する支援	社会的弱者へのサポート、体操教室、お茶会、足湯と傾聴など	
	③専門的な技術・資格を伴う被災者の支援	修理・改装・給排水・電気・大工・解体、法律相談など	
地域教会や支援者を支援する活動	④被災地域のニーズを聞き取り、支援する活動	スタッフの派遣、イベントの実施など	
	⑤支援者の支援をする中間支援や支援者へのケア	ニーズ調査を含む支援の担い手への情報提供、ニーズと支援のマッチングやコーディネート、支援者へのメンタルサポートなど	
その他	⑥その他「キリストに仕える者として、キリストの心をもって、被災地と被災者に仕える」支援		

3. 対象プロジェクトの実施期間

2024年5月1日から2024年6月30日の間に実施される活動

4. 能登ヘルプ「こひつじ基金」補助内容

審査委員会にて審査後、採択されたプロジェクト1件あたり最大20万円の補助をおこないます。但し、北陸三県（富山、石川、福井）からの申請については10万円を、北陸三県より遠方からの申請については20万円を最大補助金額とします。

この基金では、2ヶ月ごとに第2期、第3期…と応募を受け付ける予定です。第2期以降も申請し採択されると、継続して助成を受けながら活動を続けていくことができます。

※プロジェクト全体の費用が補助金以内である必要はなく、プロジェクトに係る一部を補助するものとお考えください。

※ひとつの団体につき1件の応募を受け付けます。

※尚、基金は無くなり次第、終了させていただきます。

5. 補助対象となる経費

非営利的、人道的な目的を達成するために様々な用途にご活用ください。

費目	内容	備考
謝金	講師や通訳など、外部の専門家に対する謝金	社会通念に照らして判断してください
旅費交通費	プロジェクトを実施するために必要な出張旅費や交通費など	プロジェクト実施者の移動にかかる旅費はこちらに記載
委託費	調査研究、情報公開のための成果物の電子化経費など、プロジェクトの一部を他に委託する費用	
消耗品費	プロジェクトに直接必要な食材や機材や備品等の購入費	
印刷製本費	ポスター・パンフレット等のコピー・印刷代など	
通信運搬費	郵送料、宅配便代など	
会議費	会場借用料、会場設営費用、委員会や各種会議での茶菓子代など	お茶やお茶菓子など、社会通念として考えられる範囲
広告宣伝費	プロジェクト実施の開催告知などを、新聞・雑誌・WEB等で広告するための費用	
雑費	少額かつ上記経費項目に含めることができない諸経費	社会通念に照らして判断してください

以下の経費については助成対象外となります。

助成対象外の経費	備考
人件費	申請団体のメンバーが活動する費用は人件費として支出できませんが、外部の専門家等に依頼をする場合は謝金として支出可能です
税金 保険 免許の取得費用 従業員の福利厚生 ファーストクラス・グリーン車などの移動時の特別料金 記念プロジェクト（記念行事、記念誌の発行等） 他の団体への助成 団体の事務所の家賃・人件費・光熱費等の運営費	これ以外にも、基金の目的、プロジェクトの目的に沿わない経費や根拠が不明瞭な経費等については、審査段階で対象外または減額とする場合があります

6. 応募期間

2024年4月20日（金）～2024年5月6日（金）消印有効

※メール提出の場合は5月6日23時59分までに送信ボタンが押されたもの。

7. 応募方法

別紙の応募用紙を応募期間内に能登ヘルプ「こひつじ基金」事務局（本紙末尾に記載）までご提出ください。なお、提出いただいた書類等は返却しないため、コピーを残すなどしてください。

※可能であれば活動の様子が分かるホームページ・SNS等のURLを記載してください。

8. <参考>選考のための6つのポイント

申請プロジェクトの目的、プロジェクト内容・計画について、以下のポイントに基づき総合的に判断します。

テーマ	内容	備考
信頼性	組織や活動についての情報公開を行っているか	所属するキリスト教団体が窓口となる教会や小グループの場合、教会を通じた情報公開・評価・活動実績として勘案することが可能です。 そうではない、支援団体、組織の場合は左記が選考基準のひとつとなります。
	申請分野において活動実績があるか	
計画の妥当性	プロジェクトが目的に沿って設定され、目標を実現するための計画・資金活用が適正であるか	
地域のニーズとの適合性	被災地・被災者のニーズに沿ったもの・ニーズの変化を先取りしたのものになっているか	自分たちがしたいことをするのではなく、キリスト者ならではの視点で、地域の状況を丁寧に調べ、練られたプロジェクトを優先します。
連携とその効果	地域内外の関係者を巻き込み、プロジェクトの社会的意義を高める工夫があるか	被災地域の教会・関連機関と連携をはかり、直接的ではなくても、キリストの名を高めることができるプロジェクトを優先します。
成果測定	計画段階で成果の測定指標を設け、今後の展開や改善に向けた成果測定に積極的に取り組むか	写真による記録・簡単な活動レポート・受益者の数・寄贈品の数などを積極的に報告するとコミットいただけるプロジェクトを優先します。
継続・発展性	助成終了後においてもプロジェクトを継続させるアイデアがあるか	出口戦略として、地域の教会や関係機関に良い「仕組み」を残していただけるプロジェクトを優先します。

書類審査と聞き取りのあと（申請書類受領後、応募団体に問い合わせをする場合がありますので、その場合は応答ご協力をお願いいたします）、能登ヘルプ「こひつじ基金」審査委員会において選考し、能登ヘルプ世話人会にて決定します。

9. 決定通知・助成金支払い

審査結果は応募団体宛てに個別に通知するとともに、能登ヘルプホームページ等で広報します。採否に関する個別のお問い合わせにはお答えしかねますのでご了承ください。

2024年5月下旬までに、採否に関わらずご申請頂いた皆さまに個別に結果をお知らせ致します。

採択決定後、助成契約の締結を行い、契約書に記入いただいた口座宛に振込を致します。

10. 活動結果報告書の提出と精算

プロジェクト終了後、すみやかに「活動結果報告書(別紙)」を作成し提出いただきます。

す。「活動結果報告書」内の「収支決算報告書」をふまえて清算を行い、残金が生じた場合は返還いただくことになります。

なお、本報告書において領収書の添付は必要ありませんが、必要に応じて領収書を見せていただく場合があります。そのため、報告書提出後最低1年間は、団体内で領収書を保管してください。

また、活動結果報告書に記載いただいた活動内容は、能登ヘルプホームページ等で紹介させていただく場合があります。

11. プロジェクトの変更と返還

活動中に対象プロジェクトの内容を変更する必要がある場合は、能登ヘルプ「こひつじ基金」事務局（本紙末尾に記載）までご相談ください。対象プロジェクトが何らかの理由で実行できなかった場合などには、助成金の全額または一部を返還していただくことがあります。

12. 「こひつじ基金」第1期のスケジュール

年月日	申請者	能登ヘルプ	備考
2024年4月20日～	申請書の準備と提出	募集開始	郵送： 2024年5月6日 消印有効 メール提出：
2024年5月6日		募集締切	2024年5月6日 23時59分までに 送信ボタンが押されたものが有効
2024年5月7日以降 順次	審査委員会による書類審査 ※事務局からヒアリングや追加書類の提出を依頼する場合があります		
	審査結果の通知		
	採択団体との契約締結		
決定～2024年6月30日	プロジェクトの実施	必要に応じて現地モニタリングをおこなう場合があります。	
プロジェクト実施中	活動内容に変更が生じた場合、事務局に相談		
プロジェクト完了後	活動結果報告書（収支決算報告書含）の作成と提出	提出書類と実施プロジェクトの確認・モニタリング評価	
	清算		

13. お問合せ・お申込み先

金沢独立キリスト教会 内

能登ヘルプ「こひつじ基金」事務局

住所：〒920-0942 石川県金沢市小立野4-5-1

メール：notohelp.kohitsuji@gmail.com

TEL：090-6812-8191

14. 能登ヘルプ「こひつじ基金」各書式

<応募申請は下記のいずれかを記入してください>

■「こひつじ基金」申請書

このガイドラインの最後にあります。

メール送付または印刷したものを郵送してください。

■「こひつじ基金」オンライン申請 (Google フォーム)

<https://forms.gle/LRt7P7f6nFf415rGA>

<その他資料>

■「こひつじ基金」ガイドライン PDF (この資料です)

■「こひつじ基金」活動結果報告書

能登ヘルプ「こひつじ基金」申請書

事務局記入欄	プロジェクト申請番号:	事業 ID:	継続 ID:

希望する金額	プロジェクト開始日	プロジェクト終了予定日
円		
申請団体についておしえてください		基金を利用する活動についておしえてください
<ul style="list-style-type: none"> ●代表者のお名前 ●所属教会や組織・グループの名前 ●代表する住所 ●連絡先(必ず連絡のとれるもの) 【電話】 【メール】 ●団体の設立目的（定款などがある場合は別紙に記述してください） 		<ul style="list-style-type: none"> ●どこでしますか？（活動場所） <hr/> ●誰に（支援対象） <hr/> ●何を（活動内容） <hr/> ●いつ（活動時期） <hr/> ●どんな形で（活動形態） <hr/> ●この活動を通して実現したいことは何ですか？（活動目的・ゴール）

実施予算について			
収入		支出	
項目	金額	項目	金額
基金からの補助金	円		円
その他の収入	円		円
			円
			円
			円
計		計	

※必要に応じて行数を足したものをご用意ください